

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

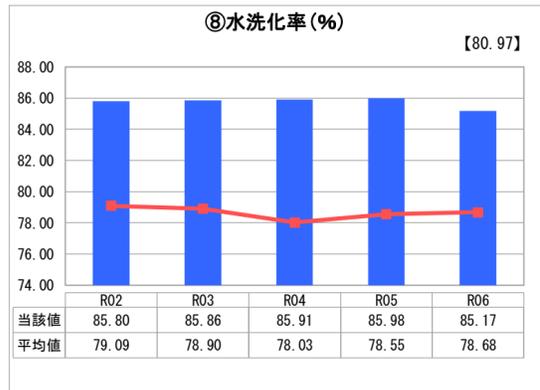
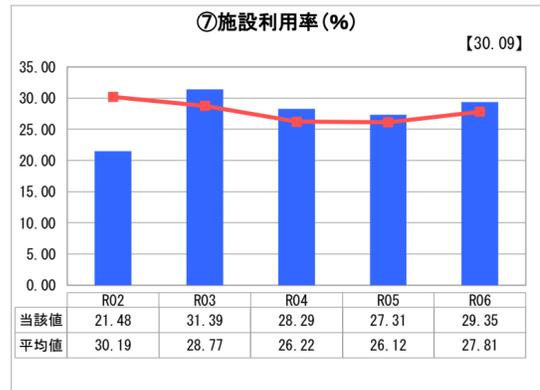
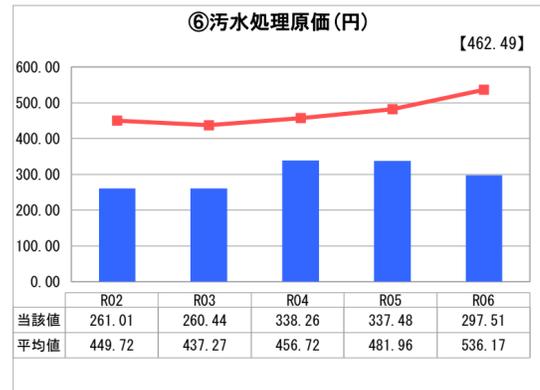
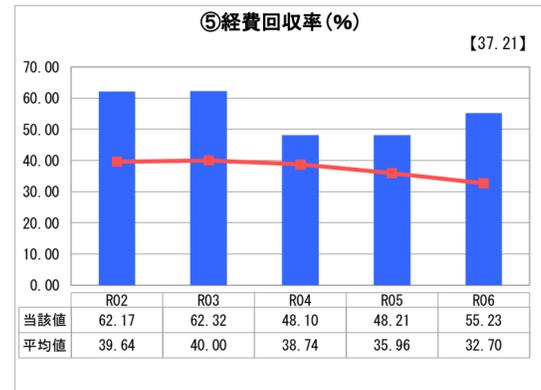
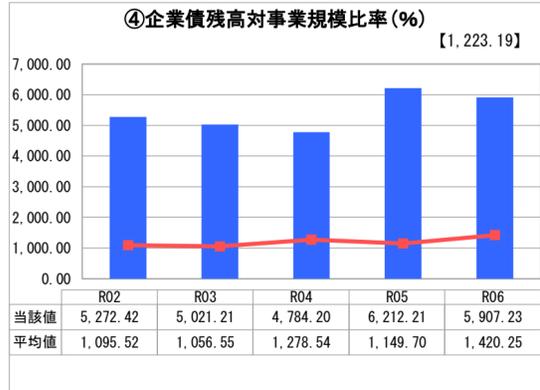
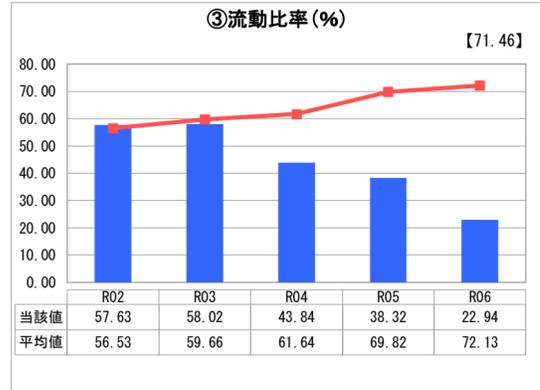
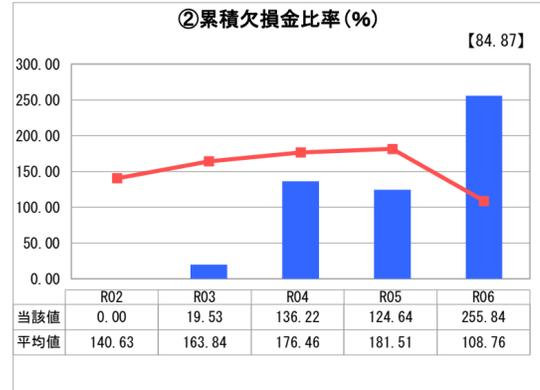
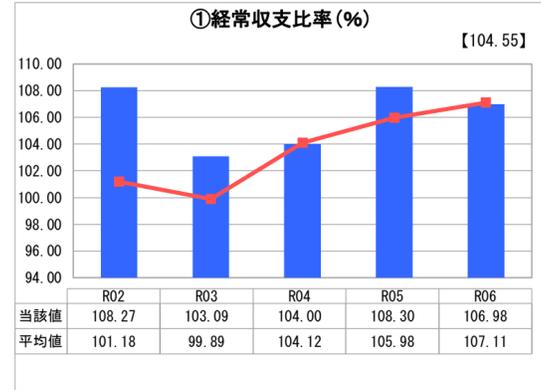
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	49.06	3.44	65.26	3,410

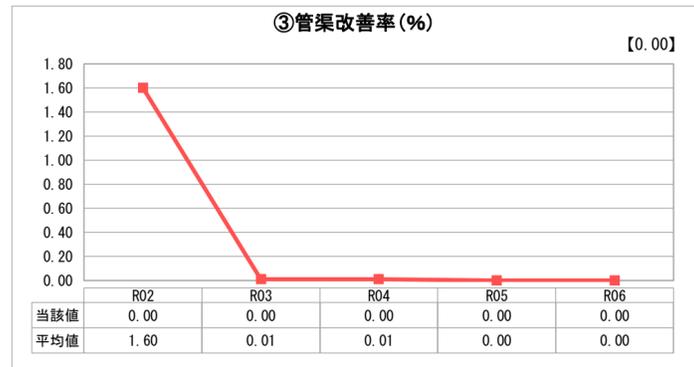
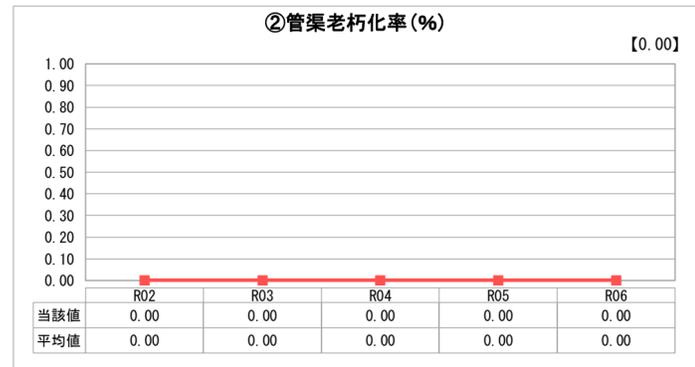
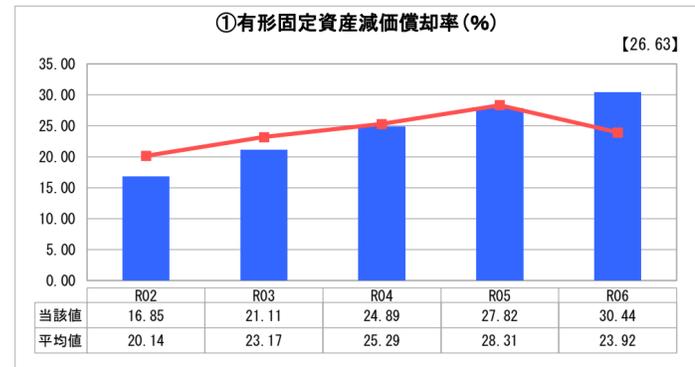
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
46,500	318.26	146.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,585	1.66	954.82

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年能登半島地震により下水道使用料が大幅に減少し、R6も災害復旧が進まず有収水量が回復していないため、②累積欠損金比率、③流動比率が悪化した。  
 ④企業債残高対事業規模比率は企業債償還が進んだことにより低下した。  
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、汚水処理経費（修繕費）が減少したことにより、数値が若干改善している。  
 ⑦施設利用率は、類似団体と比べ同程度であるが、人口減少の著しい事業地域が多く、また震災の影響もあり今後有収水量の減少による影響が懸念される。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から20年程度の処理区が多く、管渠については、更新工事が必要な老朽化は見られないが、震災で多くの施設が被災したため、災害復旧事業を優先する。マンホールポンプや処理場の耐用年数の短い機械設備等において老朽化による機能低下がみられ、修繕や更新が必要になっている。  
 今後は、老朽化により腐食が発生しやすいヒューム管等の管渠や処理場の機械設備等の更新が必要となってくるため、適切な更新計画により計画的な更新を行う必要がある。

### 全体総括

水洗化率等の向上と使用料の見直しにより収入の確保に努める。また、農業集落排水等の他の事業との一体的な維持管理により費用の縮減に努め、老朽化による管渠や処理場の更新についても計画的に実施することにより費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。  
 なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業法の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。